

# オスタバロ<sup>®</sup> インジェクター

品番 APT-1000



- オスタバロインジェクターは、骨粗しょう症の治療薬「オスタバロ<sup>®</sup>皮下注カートリッジ1.5 mg」及び「JIS T 3226-2に準拠したA型専用注射針」を取り付けて使用する、皮下投与用の電動式注入器です。また、この機器は患者さん自身が使用する機器です。
- ご使用に際しては、主治医等の指示に従い、必ずこの取扱説明書をよく読み、正しく安全にお使いください。また“安全上のご注意”（P.3～P.6）も必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

オスタバロは、帝人ファーマ株式会社の登録商標です。

取扱説明書品番：LDCL059100-2  
P0420-2042



LDCL059100-2

安全上のご注意 .....	3
お使いになる前に .....	7
■ オスタバロインジェクターのセット内容 .....	7
■ 注射する前に用意するもの .....	7
■ 各部の名称と働き .....	8
■ ディスプレイの表示内容とボタン操作 .....	10
■ 注射部位の選びかた .....	11
注射のしかた .....	12
【1】製剤カートリッジの取付け .....	12
【2】注射針の取付け .....	15
【3】空打ち .....	18
【4】注射する .....	20
【5】注射が終わったら .....	23
製剤カートリッジの交換 .....	26
■ 製剤カートリッジを使い切ったとき .....	26
■ 製剤カートリッジの使用期限が過ぎたとき .....	27
■ 製剤カートリッジを強制交換するとき .....	28
■ 製剤カートリッジを一時的に取り出したいとき .....	32
電池の交換 .....	34
■ 電池を取り外す .....	34
■ 電池を取り付ける .....	36
履歴確認 .....	38
■ 履歴確認 .....	38
■ 累計回数確認 .....	39
各種設定 .....	40
■ 日時設定 .....	40
■ 操作音設定 .....	42
■ 温度通知設定 .....	43
空打ち .....	44
注射針の取付け / 取外しが困難なとき .....	46
■ 注射針の取付けが困難なとき .....	46
■ 注射針の取外しが困難なとき .....	47
その他 .....	48
■ 保管方法 .....	48
■ 保守・点検方法 .....	48
■ 耐用期間及び廃棄に関して .....	49
お知らせ表示一覧 .....	50
Q&A .....	54
EMC 関連情報 .....	56
仕様 .....	58
■ 仕様 .....	58
■ 使用している記号の説明 .....	58
オスタバロ® 患者さまサポートセンター .....	59

## 禁忌・禁止

- オスタパロインジェクターは、「オスタパロ<sup>®</sup>皮下注カートリッジ1.5 mg」(以下、製剤カートリッジという)以外を使用しないでください。使用前は、必ずカートリッジラベルの名前と色(ラベンダー)を確認してください。
- 注射針は、主治医等の指示による「JIS T 3226-2に準拠したA型専用注射針」(以下、注射針という)以外を使用しないでください。
- オスタパロインジェクターは、皮下投与以外の目的に使用しないでください。
- オスタパロインジェクター、注射針及び製剤カートリッジは他の人と共用しないでください。付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります。(他の人と取り違える可能性がある場合は、シールを貼るなど、取り違えないように十分注意してください。)
- 植込み型医療機器(ペースメーカ、ICD\*1)をご使用の方は、オスタパロインジェクターを胸ポケットに入れたり、植込み型医療機器の植込み部位の上に決して近づけたりしないでください。  
本機は磁石を使用していますので、磁気が植込み型医療機器の作動に影響を及ぼすことがあります。万が一、近づけてしまった場合は直ちに本機を植込み部位から離してください。もし、身体の異常が回復しなければ、直ちに専門医の診察を受けてください。また、磁気カード\*2に近づけないでください。磁気データに影響を及ぼすことがあります。
- 一度使用した注射針は再使用しないでください。毎回新しい注射針を使用してください。針が詰まって正しく注射できないおそれがあります。また、付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります。
- 破損した又は異常がみられたオスタパロインジェクター、製剤カートリッジ、注射針及び電池を使用しないでください。
- オスタパロインジェクターは、他の機器に隣接させて、または積み重ねて使用しないでください。正しく投与できないおそれがあります。
- オスタパロインジェクターは、携帯形RF通信機器(アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む)から30 cmの範囲内で使用しないでください。近づけた場合、正しく投与できないおそれがあります。
- オスタパロインジェクターは、AC電源ケーブルから15 cmの範囲内で使用しないでください。近づけた場合、正しく投与できないおそれがあります。
- 電子レンジ等の加熱機器で加熱しないでください。

\*1 ICD=Implantable Cardioverter Defibrillator (植込み型除細動器)

\*2 磁気カード=クレジットカードや銀行カードなどの磁気記憶カード

## 使用上の注意

- 必ずこの取扱説明書を熟読して、正しくご使用ください。正しく操作しない場合、正しく投与できないおそれがあります。本書をお読みになり十分に理解できない方は、主治医等にご相談ください。
- オスタパロインジェクターを操作するときは、明るい場所で行ってください。暗い場所で操作すると、正しく投与できないおそれがあります。また異常を発見できなかった場合など、針刺し事故や故障のおそれがあります。
- ご使用や投与に関しては、必ず主治医等の指示に従ってください。
- オスタパロインジェクターが正常に動作しなくなった場合は使用を中止し、主治医等にお問い合わせください。
- オスタパロインジェクターを操作するときは、針先を人のいる方向に向けないでください。針刺し事故になるおそれや薬液が目に入るおそれがあります。
- 取扱い時は、針先に直接触れないでください。針刺し事故になるおそれがあります。
- 使用後の注射針を取り外す際は、取り外す前に必ず針ケースを取り付けてください。その際、針キャップは取り付けないでください。針刺し事故になるおそれがあります。
- オスタパロインジェクターの取扱い（操作）が容易でない方（視覚障がい者や手の不自由な方等）は、操作方法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- オスタパロインジェクターの使用中に薬液が漏れ出た等の不具合が認められた場合は、新しい注射針と製剤カートリッジに取り替えてください。正しく投与できないおそれがあります。
- 製剤カートリッジの外観を確認し、以下の場合には使用せず、主治医等の指示に従ってください。
  - (1) 薬液が着色しているとき
  - (2) 薬液内に浮遊物があるとき
  - (3) ガラス表面に傷やひび割れがあるとき
  - (4) 金属キャップが取れている、または曲がっているとき
  - (5) カートリッジプランジャー（ゴム）が明らかに曲がっているとき
  - (6) 薬液が凍結したとき（解凍後も使用できません。）
  - (7) ラベルが剥がれているとき
  - (8) ラベルが汚れているとき
  - (9) ラベルにゴミが付着しているとき

## 使用上の注意

- 使用後の注射針、消毒用アルコール綿及び製剤カートリッジは、主治医等の指示に従って安全に廃棄してください。付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります。
- 製剤カートリッジの使用開始後の使用期限は、最初の空打ちをした日から14日目までです。
- 使用期限を過ぎた製剤カートリッジは使用しないでください。
- 製剤カートリッジの破損等を確認する以外は、製剤カートリッジを本体に取り付けたあと、新しい製剤カートリッジに交換するまで取り外さないでください。
- ディスプレイの表示内容または操作等に疑問を生じたら使用せず、主治医等にご相談ください。
- 本体が異常に発熱したり、煙が出たり、異臭や異音がしたら、電源を切り使用を中止してください。
- 可燃ガスエアゾールやスプレーがある環境下、酸素が濃厚な環境下、または直射日光が当たる環境下では使用しないでください。
- 注射による皮膚への損傷が見られるときは、直ちに使用をやめ、主治医等にご相談ください。
- 落としたり、乱暴に扱わないでください。装置内部や製剤カートリッジが破損することがあります。
- 本体の内部を棒などで押ししたり、分解や改造をしないでください。内部の装置が破損することがあります。
- オスタバロインジェクターの耐用期間は、製造月の5年後の月末、または使用開始から604回投与のいずれか短い期間です。交換時期が近づいてきましたら主治医等にご相談ください。
- 耐用期間を過ぎた場合や、使用を中止する場合は、医療機関へ返却する等、主治医等の指示に従ってください。
- 電子レンジ、携帯電話等、電磁波が発生する電子機器の近くでは操作しないでください。内部の装置が正常に動作しないおそれがあります。
- 冷蔵保存ケースから取り出して使用する際に、本体を水等の液体で濡らさないでください。故障するおそれがあります。
- 本体に付着した水や、空打ちや注射により漏れた薬液は、乾いた布等で拭き取ってください。

### 使用上の注意

- オスタパロインジェクターが汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、水または薄めた中性洗剤をしみ込ませ、よく絞った状態で拭いてください。
- 洗浄や消毒のために、水洗いや消毒薬等の液体に浸さないでください。本体内部に液体が侵入した場合、故障するおそれがあります。
- 使用前の製剤カートリッジは冷蔵庫に入れ、凍結を避けて2℃～8℃で保管してください
- 製剤カートリッジを取り付けた本体は、必ず、冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫の凍結しない場所で保管してください。
- 製剤カートリッジを取り付けていない本体は、高温(40℃超)や低温(0℃未満)の場所には、長時間放置しないでください。
- 注射後、使い終わった注射針を取り付けたままで保管しないでください。
- 針ケース、針キャップや電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、飲み込んだ場合は、直ちに主治医等にご相談ください。
- 薬液が目や皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感等があれば主治医等にご相談ください。
- 正しく操作できていない場合、または電池残量不足等の場合は、ディスプレイの表示及び注意音にてお知らせします。詳しくは、“お知らせ表示一覧”(P.50～P.53)、“Q&A”(P.54、P.55)をよく読んでご対応ください。
- 電池残量がなくなると、オスタパロインジェクターは動作しません。常に予備電池をご用意ください。
- 電池は、同梱されている新品の予備電池(CR17335EG：以下予備電池という)を使用し、電池の向きを正しく挿入してください。
- 乗物内では、振動による誤動作、薬液の飛散、針刺し事故などの可能性がありますので、使用しないでください。
- 開封前に、オスタパロインジェクターが入っている箱の封テープがはがれているものを使用しないでください。

# お使いになる前に

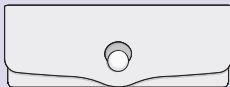
## ■オスタバロインジェクターのセット内容

本製品がお手元に届きましたら、セット内容を確認してください。☑

- オスタバロインジェクター … 1台  
(電池取付け済)



- 冷蔵保存ケース … 1個



- 予備電池 … 2本



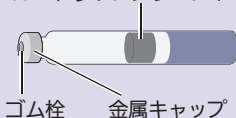
- 取扱説明書(本書) … 1冊

## ■注射する前に用意するもの

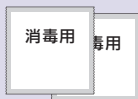
オスタバロ®皮下注カートリッジ 1.5 mg

※本文中では「製剤カートリッジ」と記載します。  
ディスプレイ上では「薬」と表示されます。

カートリッジプランジャー

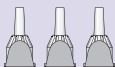


消毒用アルコール綿



A型専用注射針

※本文中では「注射針」と記載します。



※ 主治医等の指示によるA型専用注射針を使用してください。

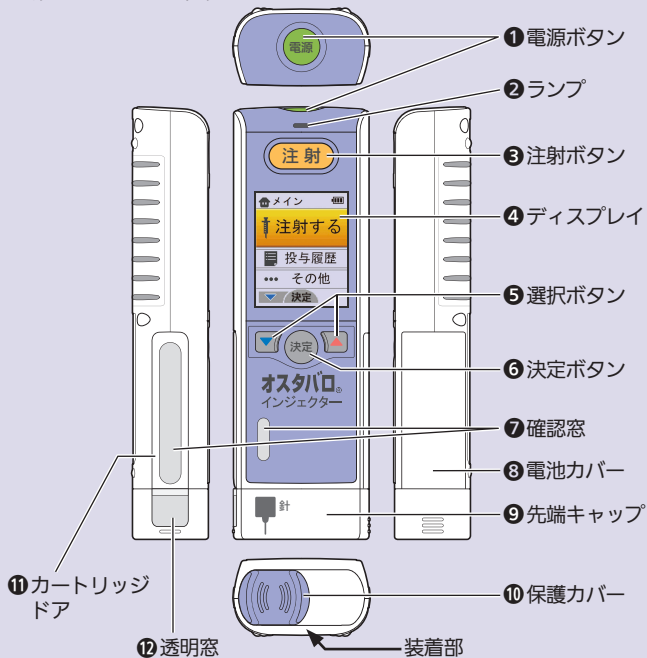
廃棄箱



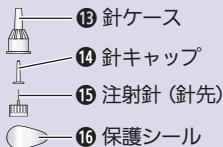
# お使いになる前に (つづき)

## ■各部の名称と働き

### オスタバロインジェクター





### A型専用注射針





## オスタバロインジェクター



名称	働き
① 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>オスタバロインジェクターの電源の入/切ができます。</li> </ul>
② ランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>オスタバロインジェクターの状態をお知らせします。 注射準備完了：緑色点灯、注射中：緑色点滅</li> </ul>
③ 注射ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>注射をするときに使用します。 長押しすると、注射針から、薬液が押し出されます。</li> </ul>
④ ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作手順を表示します。</li> <li>お知らせ内容やエラーが発生した場合には表示します。 詳しい表示内容は、“お知らせ表示一覧”(P.50~P.53)をご参照ください。</li> </ul>
⑤ 選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種メニュー画面で、項目を選択したり、数値を変更するときに使用します。   (青色ボタン) で項目選択/数値減少し、   (ピンク色ボタン) で項目選択/数値増加します。</li> <li>数値を変更するときに押し続けると、早送り/早戻しすることができます。</li> </ul>
⑥ 決定ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面表示に合わせて、確認や決定、戻るときに使用します。</li> </ul>
⑦ 確認窓	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り付けた製剤カートリッジを確認できます。</li> </ul>
⑧ 電池カバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池を交換するときに取り外します。</li> </ul>
⑨ 先端キャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>注射時に先端部を注射部位に押し当てます。</li> </ul>
⑩ 保護カバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>注射針の取付け/取外しのときに開閉します。</li> </ul>
⑪ カートリッジドア	<ul style="list-style-type: none"> <li>製剤カートリッジの取付け・交換時に開閉します。</li> </ul>
⑫ 透明窓	<ul style="list-style-type: none"> <li>注射針が正しく取り付けられているかを確認できます。</li> </ul>

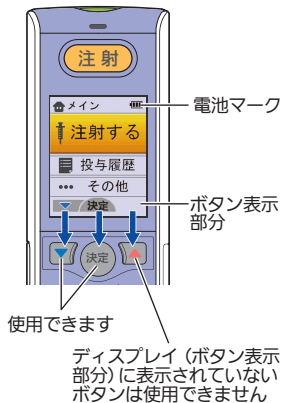
## A型専用注射針

名称	働き
⑬ 針ケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>A型専用注射針の保護ケースです。</li> <li>取付け/取外しのときに持って使用します。</li> </ul>
⑭ 針キャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>針先を保護するキャップです。</li> </ul>
⑮ 注射針(針先)	<ul style="list-style-type: none"> <li>針先から薬液が出ます。</li> </ul>
⑯ 保護シール	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用前の注射針を清潔に保ちます。</li> </ul>

## ■ディスプレイの表示内容とボタン操作

本体のディスプレイに操作手順やお知らせ内容を表示します。

- 本体を操作するときは、ディスプレイに表示された文字の方向に合わせて、本体を持って操作を行います。
- ディスプレイには、その操作手順で使用できるボタンを表示し、使用できないボタンを非表示としています。また、現在選択されている項目をオレンジ色で表示しています。
- ディスプレイ右上の電池マーク(  )は、電池の残量を示しています。残量が少量を示しているとき(  )は、同梱されている新品の予備電池を準備してください。
- お知らせ内容やエラーが発生した場合には、ディスプレイにその内容を表示します。  
“お知らせ表示一覧” (P.50~P.53) を確認し、操作してください。  
また正しく操作しても動作しない場合は、主治医等にお問い合わせください。



## ■注射部位の選びかた

- 注射部位は、お腹です。
- 同じ部位であっても、毎回場所を変えて注射するようにしてください。
- 皮膚の損傷部位（けが、炎症等）への注射は避けてください。



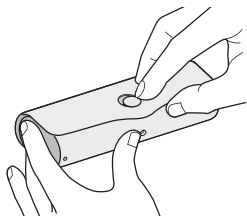
## 注射の前に

- 製剤カートリッジや注射針の取付けは細かい作業になりますので、操作は座って行うことをお勧めします。
- 各手順で問題があった場合、その手順を再度やり直すか、一つ前の手順からやり直してください。それでも解消されないときには最初からやり直してください。また、“お知らせ表示一覧”(P.50~P.53)、“Q&A”(P.54、P.55)をご参照ください。
- 電源を入れたあと、3分間ボタン操作が行われなかった場合は、自動的に電源が切れます。

### 1 冷蔵保存ケースから本体を取り出す

#### 注意

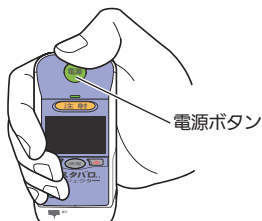
本体に注射針が取り付けられていないことを確認してください。



### 2 ディスプレイが点灯するまで

- (電源ボタン)を約2秒間長押しして電源を入れる

起動画面が表示されたあと、製剤カートリッジが装着されていない場合は、「未使用の薬を装着しましょう」と表示されます。





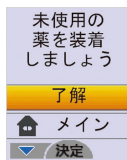
## 2回目以降の注射のときは

電源を入れると、下のいずれかの画面が出ます。

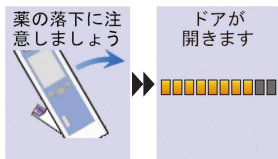
**決定** (決定ボタン) を押したあと、“【2】注射針の取付け” (P.15) に進んでください。



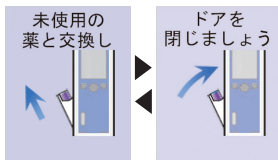
- 3   (選択ボタン) で「了解」を選択し、**決定** (決定ボタン) を押す



- 4 カートリッジドアに指が触れないようにし、自動でドアが開くのを待つ



カートリッジドアが開きます。



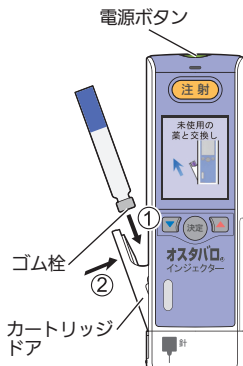
# 注射のしかた 【1】製剤カートリッジの取付け (つづき)

- 5 本体は電源ボタン側を上にして持ち、新しい製剤カートリッジのゴム栓を下にして挿入する ①

カートリッジドアを押して閉める ②

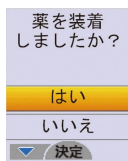
## 注意

- 必ず指定の製剤カートリッジを使用してください。
- 製剤カートリッジ先端のゴム栓には、直接手を触れないように十分注意してください。
- 製剤カートリッジが落下するおそれがありますので、本体を傾けないでください。
- 本体を傾けた状態、または電源ボタン側を下にした状態では、カートリッジドアが開かない場合があります。必ず、電源ボタン側を上にしてください。
- カートリッジドアの確認窓から、薬液の凍結、着色及び浮遊物等の異常の確認や薬液の残量確認の為、製剤カートリッジラベルの“オスタバロ”の文字が、確認窓の反対側に位置するように製剤カートリッジを挿入してください。



- 6 ▼ ▲ (選択ボタン) で「はい」を選択し、決定 (決定ボタン) を押す

間違った製剤カートリッジを取り付けてしまったときは、エラーメッセージが表示されます。決定 (決定ボタン) を押したあと、手順4 (P.13) に戻り未使用の正しい製剤カートリッジに交換してください。



- 7 決定 (決定ボタン) を押す  
メイン画面に戻ります。

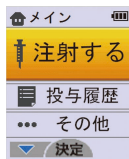


# 注射のしかた 【2】注射針の取付け

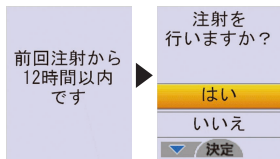
## 注意

- 注射針は、保護シールが貼られ密封状態になっていることを確認してください。保護シールが破損している場合は、菌に汚染されている可能性がありますので、使用しないでください。
- 注射針の汚染は感染症等の原因となります。注射針の取扱いには十分注意し、注射ごとに新しいものを使用してください。再使用はしないでください。
- 曲がった注射針は使用しないでください。  
(曲がった状態で、または曲がった注射針を元に戻してから注射すると、注射針が折れ体内に残ってしまうおそれがあります。)



- 1  (選択ボタン) で「注射する」を選択し、 (決定ボタン) を押す



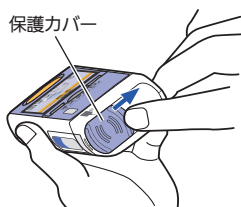
- 2 前回注射から12時間以内のときは、メッセージが表示されますので、注射しないでください。不都合がある場合は、主治医等にご連絡ください。  
(初回注射時、または12時間以上経過している場合は表示されません。)



確認したあと、

-  (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す

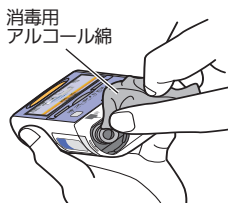
- 3 画面に「保護カバーを開きましょう」と表示されている状態で、保護カバーをスライドさせる



## 注射のしかた 【2】注射針の取付け (つづき)

### 4 製剤カートリッジ先端のゴム栓を消毒する

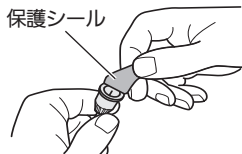
消毒用アルコール綿の角を使って、  
ていねいに拭いてください。



### 5 注射針の保護シールをはがす

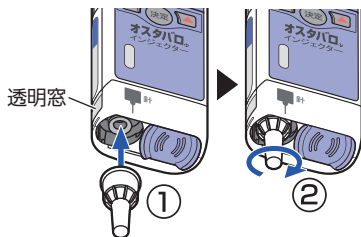
#### 注意

- 注射針に触れないよう十分注意してください。
- 保護シールは、必ず使用直前にはがしてください。



注射針の取付けが困難な方、取り付けにくいと思われる方は、下記の手順6の代わりに、“注射針の取付けが困難なとき” (P.46) を実行してください。

- ### 6 透明窓から確認しながら製剤カートリッジ先端のゴム栓に針ケースをまっすぐに押し入れ ① 締めすぎないように注意し時計方向に回して止まるまでねじ込む ②



#### 注意

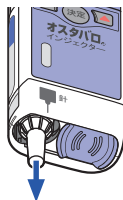
- 製剤カートリッジ先端のゴム栓には、直接手を触れないように十分注意してください。
- 取り付けにくい場合は、無理にねじ込まず新しい注射針に取り替えてください。
- 注射針が正しく取り付けられていないと、正常に注射できない可能性があります。



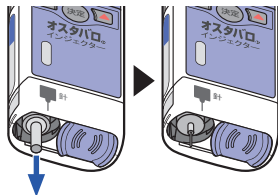
## 7 針ケースをまっすぐに取り外す

### 注意

針ケースは、注射後の注射針取外しに使用しますので、保管しておいてください。



## 8 針キャップをまっすぐに取り外す 針キャップは廃棄箱に捨ててください。



## 9 決定 (決定ボタン) を押す

注射針を  
付けましょう



付けたら決定

決定

# 注射のしかた 【3】空打ち

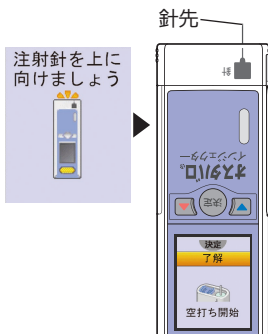
製剤カートリッジ装着・交換後の初回注射時には、製剤カートリッジの位置を検出するために空打ちを行います。

2回目以降の注射の場合は、“【4】注射する” (P.20) に進んでください。

## 注意

- 注射針が露出していますので、針刺し事故に十分注意してください。
- 空打ちが不十分な場合、投与量に影響する可能性がありますので、確実に空打ちを行ってください。
- 薬液が勢いよく飛び出す場合がありますので、注射針を上方向からではなく、横方向から見るようにしてください。
- 薬液が目や皮膚に付着した場合、直ちに水で洗い流してください。
- 薬液が家具等に付着した場合、直ちに拭き取ってください。
- 操作中に曲がってしまった注射針は、使用しないでください。  
その場合は、新しい注射針に取り替えてください。(曲がった状態で、または曲がった注射針を元に戻してから注射すると、注射針が折れ体内に残ってしまうおそれがあります。)
- 先端キャップの周りに薬液がついてしまった場合は、注射が終わって、注射針を取り外したあとで、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。

- 1 上下反転した本体表示に合わせて  
針先を上に向ける

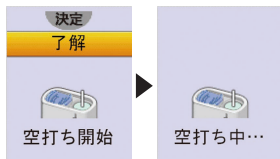


2 「空打ち開始」と表示されます。

**決定**（決定ボタン）を押す

空打ちが開始されます。

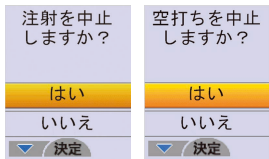
薬液の飛散に注意しながら、注射針を横方向から見て、針先から薬液が出ることを確認してください。



3分間決定ボタンが押されなかった場合、「注射を中止しますか？」の画面に切り替わります。

### 空打ちを中止したいときは

- 「注射を中止しますか？」または「空打ちを中止しますか？」と表示されるまで **電源**（電源ボタン）を約2秒間長押しする。
- ▼** **▲**（選択ボタン）で「はい」を選択し、**決定**（決定ボタン）を押す。
  - 「注射針を取り外す」画面に切り替わります。「【5】注射が終わったら」（P.23～P.25）に従って注射針を取り外してください。



3 針先から薬液が出るのを確認したあと、保護カバーが開いたままの状態、

**▼** **▲**（選択ボタン）で「了解」を選択し、**決定**（決定ボタン）を押す



### 針先から薬液が出ないときは

- ▼** **▲**（選択ボタン）で「もう一度」を選択し、**決定**（決定ボタン）を押す。
- 手順2に戻り、再度空打ちをしてください。
- 何度試しても薬液が出ないときは、注射針を交換し、再度空打ちをしてください。
- 空打ちを繰り返すと、現在の製剤カートリッジで注射できる回数が減ります。

# 注射のしかた 【4】注射する

## 注意

- 主治医等の指示に従って注射してください。
- 植込み型医療機器をご使用の場合は、植込み部位に密着させないでください。

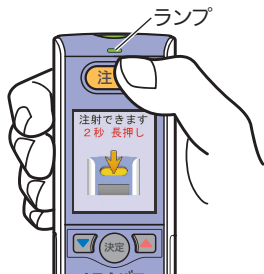
### 1 注射部位を消毒用アルコール綿で拭く

注射部位は、主治医等の指示に従い、“注射部位の選びかた” (P.11) をご参照ください。



## 注意

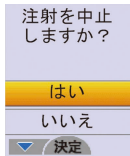
注射針、注射部位には触れないでください。

### 2 画面とランプが見えるように手で握る

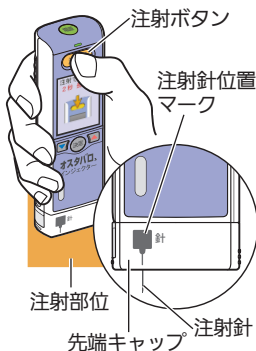


### 注射を中止したいときは

- 「注射を中止しますか?」と表示されるまで (電源ボタン) を約2秒間長押しする。
-  (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す。
  - 「注射針を取り外す」画面に切り替わります。“【5】注射が終わったら” (P.23~P.25) に従って注射針を取り外してください。



- 3 a. 注射針位置マークを目安にし、  
注射部位を軽くつまみ、  
つまんだ箇所先端キャップを  
垂直に押し当てる  
注射針が注射部位に刺さります。



- b. ディスプレイに「注射中」と表示  
されるまで注射ボタンを約2秒間  
長押しする

ランプが点滅し、薬液が自動で注入  
されます。  
投与中は、『ピピッ、ピピッ…』と鳴り  
ますので、本体を注射部位から離さな  
いください。



## 注意

- 注射するとき以外は注射ボタンを押さないでください。
- 正しく注射できないおそれがありますので、必ず注射部位に先端キャップを垂直に押し当てた状態で、注射ボタンを押してください。
- 注射中は本体を動かさないでください。

## 注射のしかた 【4】注射する (つづき)

- 4 注射が完了すると『ピー』と鳴り、注射完了画面が表示されます。  
本体を注射部位から垂直に離す

注射完了です

注射完了です  
本体を体から  
離しましょう



### エラー画面が出たときは

- a. 本体を体から離し、注射針を交換したあと、**決定** (決定ボタン) を押す。  
b. 手順2 (P.20) に戻って再度注射を行う。



本体を離して  
注射針を確認  
しましょう

了解

決定

- a. 本体を体から離し、**決定** (決定ボタン) を押す。  
b. “【5】注射が終わったら” (P.23~P.25) に従って注射針を取り外す。  
• 投与不足の可能性があるので、必ず主治医等にご連絡ください。



電池残量不足  
本体を体から  
離しましょう

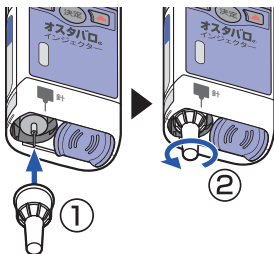
了解

決定

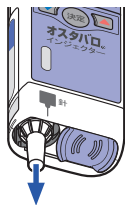
# 注射のしかた 【5】注射が終わったら

注射針の取外しが困難な方、取り外しにくいと思われる方は、下記の手順1、2の代わりに、“注射針の取外しが困難なとき” (P.47) を実行してください。

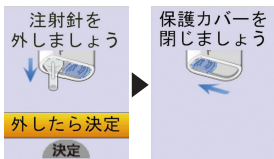
- 1 「注射針を外しましょう」と表示されたら  
針ケースをまっすぐに取り付け (①)  
反時計方向に数回回して注射針を  
緩める (②)



- 2 針ケースごと注射針をまっすぐに取り外す  
注射針が取り外されていない場合は、  
もう一度手順1 を実行してください。



- 3 注射針を取り外したあと  
**決定** (決定ボタン) を押す  
取り外した注射針は、廃棄箱に捨てて  
ください。



## 注射のしかた 【5】注射が終わったら (つづき)

### 4 保護カバーを閉じる



#### 注射が規定回数に達したときは

注射が規定回数 (5回、10回、30回、50回、100回、以降100回ごと) に達した場合は、保護カバーを閉じたあと、達成画面が表示されますので、**決定** (決定ボタン) を押してください。



#### 製剤カートリッジを使い切ったときは

製剤カートリッジを使い切った場合は、右の画面が表示されますので、“製剤カートリッジを使い切ったとき” (P.26) を実行してください。

薬が終了しました。交換  
しましょう

了解

決定

### 5 メッセージの内容を確認し **決定** (決定ボタン) を押す

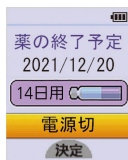
凍結を避けて  
冷蔵庫に保管  
しましょう

了解

決定



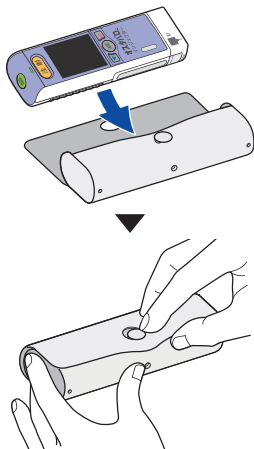
- 6 製剤カートリッジの終了予定を確認し、  
決定（決定ボタン）を押す  
自動的に電源が切れます。



- 7 本体を冷蔵保存ケースに収納し、  
冷蔵庫へ保管する

### 注意

- 電源が切れていることを確認してください。
- 凍結しない場所で保管してください。



### 注意

- 針刺し事故に十分注意してください。
- 先端キャップの周りに薬液がついている場合は、消毒用アルコール綿で拭き取ってください。薬液が本体に入ると、故障のおそれがあります。
- 注射部位は、消毒用アルコール綿で軽く押さえてください。
- 使用後の注射針、消毒用アルコール綿、製剤カートリッジは主治医等の指示に従って、適切に安全に廃棄してください。

# 製剤カートリッジの交換

## 注意

本体に注射針が取り付けられていないことを確認してください。

## ■製剤カートリッジを使い切ったとき




- 1 注射後に注射針を外し、保護カバーを閉じると、右の画面が表示されます。

 (決定ボタン) を押す

薬が終了しました。交換しましょう

了解



- 2   (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す

「いいえ」を選択して決定ボタンを押すと、終了処理後に自動的に電源が切れます。この場合、次回電源を入れた時に「薬の終了日が過ぎました」が表示されます。

薬を交換しますか？

はい


いいえ



- 3 “【1】製剤カートリッジの取付け”の手順4～6 (P.13、P.14) を実行する


- 4  (決定ボタン) を押す

  
未使用の薬です

14日用 

了解



- 5 メッセージの内容を確認し  (決定ボタン) を押す  
自動的に電源が切れます。

凍結を避けて冷蔵庫に保管しましょう

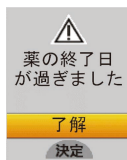
了解



## ■ 製剤カートリッジの使用期限が過ぎたとき

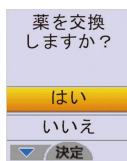
- 1 電源を入れた時に、右の画面が表示されます。

 (決定ボタン) を押す



- 2   (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す




「いいえ」を選択して決定ボタンを押すと、終了処理後に自動的に電源が切れます。この場合、次回電源を入れた時に「薬の終了日が過ぎました」が表示されます。

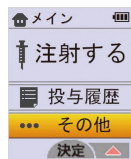



- 3 “【1】製剤カートリッジの取付け”の手順4～7 (P.13、P.14) を実行する

## ■製剤カートリッジを強制交換するとき




使用期限内や薬液の量がまだ十分残っているにもかかわらず、製剤カートリッジに異常が見られる場合などに強制交換することができます。

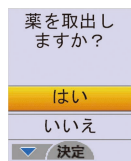
- 1   (選択ボタン) で「その他」を選択し、 (決定ボタン) を押す



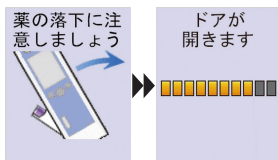
- 2   (選択ボタン) で「薬の取出」を選択し、 (決定ボタン) を押す



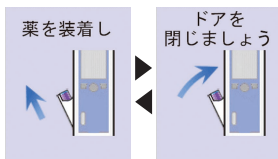
- 3   (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す



#### 4 カートリッジドアに指が触れないようにし、自動でドアが開くのを待つ



カートリッジドアが開きます。

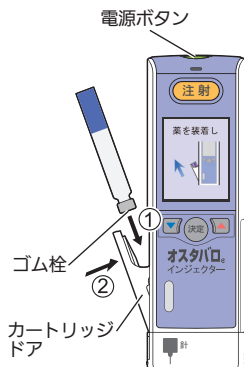


#### 5 本体は電源ボタン側を上にして持ち、製剤カートリッジを取り外したあと、新しい製剤カートリッジのゴム栓を下にして挿入する (①)



カートリッジドアを押して閉める (②)

### 注意

- 必ず指定の製剤カートリッジを使用してください。
- 製剤カートリッジ先端のゴム栓には、直接手を触れないように十分注意してください。
- 製剤カートリッジが落下するおそれがありますので、本体を傾けないでください。
- 本体を傾けた状態、または電源ボタン側を下にした状態では、カートリッジドアが開かない場合があります。必ず、電源ボタン側を上にしてください。
- カートリッジドアの確認窓から、薬液の凍結、着色及び浮遊物等の異常の確認や薬液の残量確認の為、製剤カートリッジラベルの“オスタバロ”の文字が、確認窓の反対側に位置するように製剤カートリッジを挿入してください。



## 製剤カートリッジの交換 (つづき)

- 6   (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す







薬を装着  
しましたか？

はい

いいえ

製剤カートリッジを装着しないで電源を切るときは




- a. 右上の画面で、  (選択ボタン) で「いいえ」を選択し、 (決定ボタン) を押す。
- b. 右の画面で、  (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す。
- 自動的に電源が切れます。

未装着で  
電源を  
切りますか？

はい

いいえ


- 7   (選択ボタン) で「未使用」を選択し、 (決定ボタン) を押す

どちらの  
薬ですか？

使用中

未使用

- 8   (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す

未使用の  
薬ですね？

はい

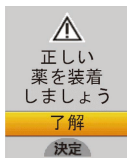
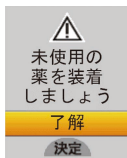
いいえ

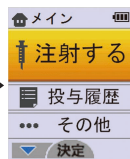
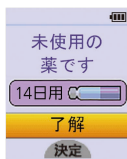
### エラー画面が出たときは

取り付けた製剤カートリッジが、未使用の正しい製剤カートリッジではありません。

**決定** (決定ボタン) を押したあと、**手順4 (P.29)** に戻り、未使用の正しい製剤カートリッジを取り付けてください。



- 9 **決定** (決定ボタン) を押す  
メイン画面に戻ります。



## ■製剤カートリッジを一時的に取り出したいとき

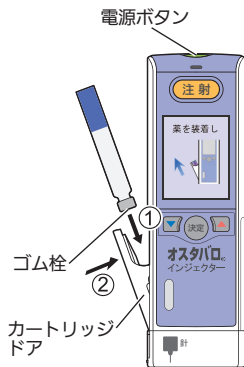
製剤カートリッジを一時的に取り出し、製剤カートリッジの破損等を確認することができます。確認後は必ず取り出した製剤カートリッジを再度取り付けてください。

- 1 “製剤カートリッジを強制交換するとき”の手順 1~4 (P.28、P.29) に従って、取り付けている製剤カートリッジを取り外す
- 2 取り出した製剤カートリッジを確認する
- 3 本体は電源ボタン側を上にして持ち、取り出した製剤カートリッジのゴム栓を下にして挿入する (①)



カートリッジドアを押して閉める (②)

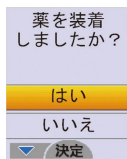
### 注意





- 必ず取り出した製剤カートリッジを使用してください。
- 製剤カートリッジ先端のゴム栓には、直接手を触れないように十分注意してください。
- 製剤カートリッジが落下するおそれがありますので、本体を傾けないでください。
- 本体を傾けた状態、または電源ボタン側を下にした状態では、カートリッジドアが開かない場合があります。必ず、電源ボタン側を上してください。
- カートリッジドアの確認窓から、薬液の凍結、着色及び浮遊物等の異常の確認や薬液の残量確認の為、製剤カートリッジラベルの“オスタバロ”の文字が、確認窓の反対側に位置するように製剤カートリッジを挿入してください。

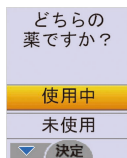







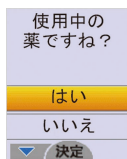
- 4    (選択ボタン)で「はい」を選択し、 (決定ボタン)を押す



- 5    (選択ボタン)で「使用中」を選択し、 (決定ボタン)を押す




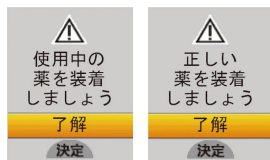
- 6    (選択ボタン)で「はい」を選択し、 (決定ボタン)を押す




#### エラー画面が出たときは

取り付けた製剤カートリッジが、使用中の正しい製剤カートリッジではありません。

 (決定ボタン)を押したあと、カートリッジが開くのを待ってから、[手順3~6 \(P.32、P.33\)](#)を再度実行し、取り外した使用中の製剤カートリッジを取り付けてください。



- 7 製剤カートリッジの使用期限を確認し、 (決定ボタン)を押す  
メイン画面に戻ります。



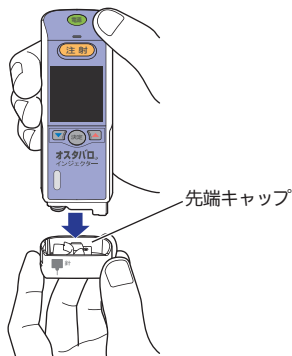
# 電池の交換

## 注意

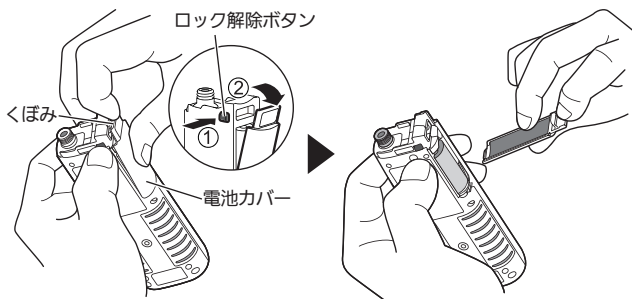
本体に注射針が取り付けられていないことを確認してください。

## ■電池を取り外す

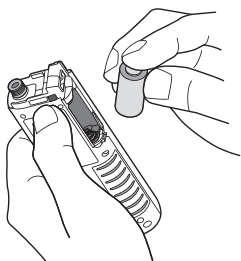
- 1 電源が切れていることを確認し、先端キャップをまっすぐ取り外す



- 2 ロック解除ボタンを押しながら①、電池カバーのくぼみに指をかけて電池カバーを外す②

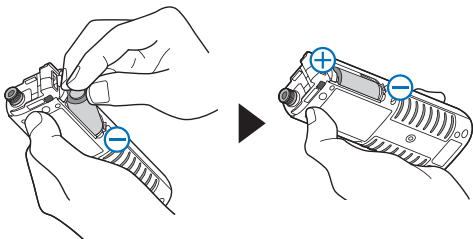


### 3 電池を取り外す

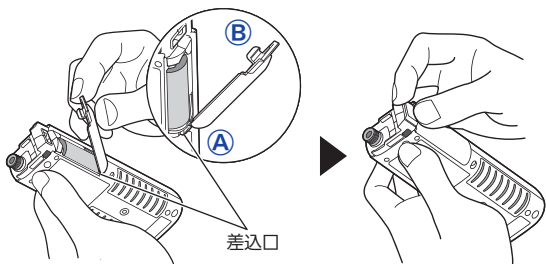


## ■電池を取り付ける

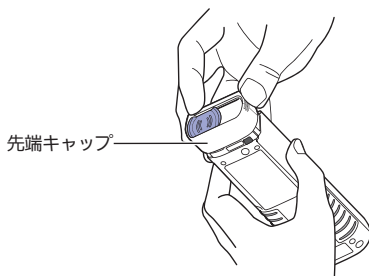
- 1 同梱されている新品の予備電池を⊖側から挿入する



- 2 電池カバーのⒶ側を、本体の差込口に差し込んでから、  
Ⓑ側を、カチッと音がしてロックされるまで本体に差し込む



### 3 先端キャップを取り付ける






#### 注意

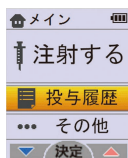
- 電池は、同梱されている新品の予備電池を使用し、逆挿入しないでください。
- 予備電池を紛失または使い切った場合は、オスタバロ®患者さまサポートセンター（P.59）にお問い合わせください。
- 使用済みの電池は、地域の廃棄方法に従って処分してください。




# 履歴確認

## 履歴確認

1日ごと、1か月ごとの投与履歴を確認することができます。

- 1   (選択ボタン) で「投与履歴」を選択し、 (決定ボタン) を押す



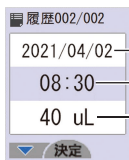
- 2   (選択ボタン) で「日履歴」または「月履歴」を選択し、 (決定ボタン) を押す

決定ボタンを押すと、最新の履歴が表示されます。



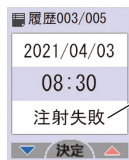
- 3   (選択ボタン) で履歴を確認する

### 「日履歴」の表示例



— 投与した日時

— 投与した量



エラーが発生した場合、投与した量は表示されません。

### 「月履歴」の表示例



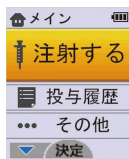
 : 実施

 : 2回以上実施

 : 未実施

 : 当日

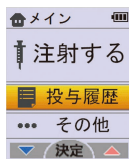
- 4 **決定** (決定ボタン) を押す  
履歴確認を終了し、メイン画面に戻ります。



## ■ 累計回数確認

これまでの累計投与回数を確認することができます。

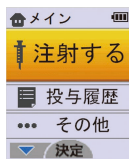
- 1 **▼** **▲** (選択ボタン) で「投与履歴」  
を選択し、**決定** (決定ボタン) を押す



- 2 **▼** **▲** (選択ボタン) で「累計回数」  
を選択し、**決定** (決定ボタン) を押す  
決定ボタンを押すと、累計投与回数  
が表示されます。






- 3 **決定** (決定ボタン) を押す  
累計回数確認を終了し、メイン画面に  
戻ります。

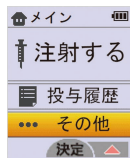





# 各種設定

## ■日時設定




本体の日時を変更することができます。

- 1   (選択ボタン) で「その他」を選択し、 (決定ボタン) を押す






- 2   (選択ボタン) で「設定」を選択し、 (決定ボタン) を押す



- 3   (選択ボタン) で「日時」を選択し、 (決定ボタン) を押す



- 4   (選択ボタン) で年を設定し、 (決定ボタン) を押す





- 5 手順4 (P.40) を繰り返し、月、日、時、分を順に設定する



- 6 表示された日時が正しければ、  
▼ ▲ (選択ボタン) で「はい」を選択し、決定 (決定ボタン) を押す



変更したいときは

▼ ▲ (選択ボタン) で「いいえ」を選択し、決定 (決定ボタン) を押す。

- 手順3 (P.40) に戻り、再度設定してください。



- 7 ▼ ▲ (選択ボタン) で「メイン」を選択し、決定 (決定ボタン) を押す





## ■ 操作音設定

操作音や注射時の音を、鳴らしたり鳴らさないようにしたりできます。初期設定は、音が鳴るように設定されています。また、音が鳴らない設定にしても、エラー時の通知音は鳴ります。

1 “日時設定”の手順1、2 (P.40) を実行する

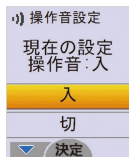
2  (選択ボタン) で「操作音」を選択し、 (決定ボタン) を押す




3  (選択ボタン) で「入」または「切」を選択し、 (決定ボタン) を押す

入：操作音や注射時の音を鳴らす

切：操作音や注射時の音を鳴らさない



4  (選択ボタン) で「メイン」を選択し、 (決定ボタン) を押す






## ■ 温度通知設定

冷蔵庫に保管し忘れた場合、本体が周囲の温度により温まると、ブザー音を鳴らして通知画面を表示します。そのブザー音を鳴らしたり鳴らさないようにしたりできます。初期設定は、ブザー音が鳴るように設定されています。

この温度通知設定は、次回起動時には、ブザー音が鳴るように自動で再設定されます。



1 “日時設定”の手順1、2 (P.40) を実行する

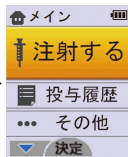
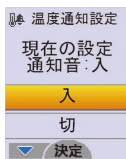
2  (選択ボタン) で「温度通知」を選択し、 (決定ボタン) を押す

3  (選択ボタン) で「入」または「切」を選択し、 (決定ボタン) を押す

入：温度通知時のブザー音を鳴らす



切：温度通知時のブザー音を鳴らさない

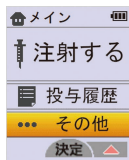
4  (選択ボタン) で「メイン」を選択し、 (決定ボタン) を押す





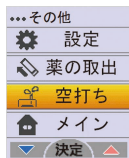
# 空打ち

製剤カートリッジ内にある空気（気泡）を抜く場合、製剤カートリッジから薬液が出るかどうか確認するために空打ちを行います。

- 1  (選択ボタン) で「その他」を選択し、 (決定ボタン) を押す





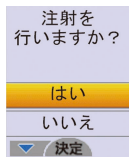
- 2  (選択ボタン) で「空打ち」を選択し、 (決定ボタン) を押す



- 3 “【2】注射針の取付け”の手順3～9 (P.15～P.17) に従って注射針を取り付ける

- 4 “【3】空打ち” (P.18、P.19) に従って空打ちを実行する

- 5 空打ちが終われば、 (選択ボタン) で「はい」を選択し、 (決定ボタン) を押す



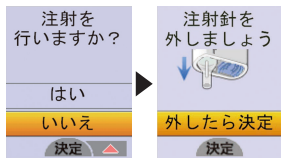
## 6 “【4】注射する” (P.20~P.22) “【5】注射が終わったら” (P.23~P.25) を実行する

注射を行わないときは

手順5 (P.44) で、

  (選択ボタン) で「いいえ」を選択し、 (決定ボタン) を押す。

- 「注射針を外しましょう」に切り替わります。“【5】注射が終わったら” (P.23~P.25) に従って注射針を取り外してください。



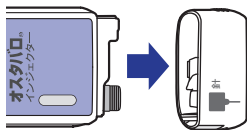
# 注射針の取付け / 取外しが困難なとき

先端キャップを取り外すことにより、針ケースの取付け部分を確認することができ、確実に注射針の取付け / 取外しをすることができます。

## ■注射針の取付けが困難なとき

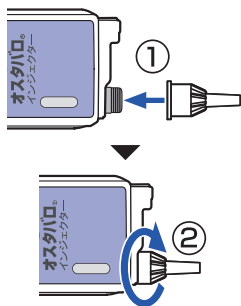
“【2】注射針の取付け”の手順6 (P.16) の代わりに下記手順を行ってください。

### 1 先端キャップを取り外す



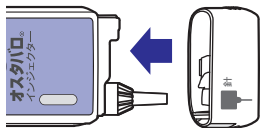
### 2 製剤カートリッジ先端のゴム栓に針ケースをまっすぐに押し入れ (①) 締めすぎないように注意し 時計方向に回して止まるまでねじ込む (②)

- 針ケースは取り外さないでください。



### 3 保護カバーが開いていることを確認し 先端キャップを取り付ける

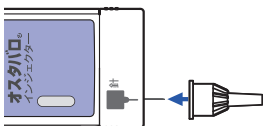
- “【2】注射針の取付け”の手順7 (P.17) に戻ってください。



## ■注射針の取外しが困難なとき

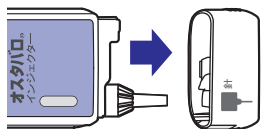
“【5】注射が終わったら”の手順1、2(P.23)の代わりに下記手順を行ってください。

1 針ケースをまっすぐに奥まで取り付ける



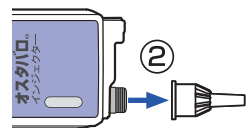
2 先端キャップをまっすぐに取り外す

- 取り外したあと、もう一度しっかりと針ケースを押し込んでください。



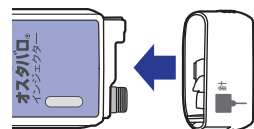
3 針ケースを反時計方向に数回回して注射針を緩め ①、針ケースごと注射針をまっすぐに取り外す ②

- 注射針が取り外されていない場合は、もう一度針ケースを取り付け、再度この手順を実行してください。



4 先端キャップを取り付ける

- “【5】注射が終わったら”の手順3(P.23)に戻ってください。



## ■保管方法

- 冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫の凍結しない場所で保管してください。
- 子供やペットの手の届かない場所に保管してください。
- 使用前の製剤カートリッジは冷蔵庫に入れ、凍結を避けて2℃～8℃で保管してください。
- 製剤カートリッジを取り付けた本体は、必ず、冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫の凍結しない場所で保管してください。

### 注意

注射針を取り付けたままで保管しないでください。

## ■保守・点検方法

ご使用の前後には、オスタバロインジェクターの点検を行ってください。

### ● 日常点検

- ① 使用前：外観を確認し、汚れや破損がないか確認してください。
- ② 使用中：正常に動作をしているか確認してください。
- ③ 使用后：次回に備えて、汚れや破損がないか確認してください。

### ● 普段のお手入れ

本体の外側を、乾いたやわらかい布で拭いてください。

### ● 汚れがひどいとき

汚れがひどい場合は、やわらかい布に、水または薄めた中性洗剤をしみこませ、よく絞った状態で拭いてください。

### ● 次のものは使わない

石油/みがき粉/シンナー/ベンジン/ワックス/熱湯/せっけん等を使うと、変色・変質等のおそれがあります。

### 注意

- 本体の分解や改造をしないでください。
- 洗浄や消毒のために、水洗いをしたり、消毒薬等の液体に浸したりしないでください。



## ■耐用期間及び廃棄に関して







- オスタパロインジェクターの耐用期間は、製造月の5年後の月末、または使用開始から604回投与のいずれか短い期間です。交換時期が近づいてきましたら主治医等にご相談ください。
- 耐用期間を過ぎた場合や使用を中止する場合は、冷蔵保存ケースを含む本品一式を医療機関へ返却する等、主治医等の指示に従ってください。
- 使用済みの注射針、消毒用アルコール綿及び製剤カートリッジは、主治医等の指示に従って、安全に廃棄してください。








### 注意

オスタパロインジェクターにはリチウムイオン電池を内蔵しています。誤って火の中へ投入したり、加熱したりすると、発熱・発火・破裂の原因となります。








# お知らせ表示一覧





お知らせ内容やエラーが発生した場合に、ディスプレイにその内容が表示されます。「内容と対応」を確認し操作してください。

表示	内容と対応
 薬の終了日 が過ぎました	製剤カートリッジの使用期限が切れた、または14回の投与が終了したにもかかわらず製剤カートリッジを交換していません。 ▶ 製剤カートリッジの残量にかかわらず、新しい製剤カートリッジに交換してください。
 未使用の 薬を装着 しましょう	製剤カートリッジ取付け時、製剤カートリッジを「未使用」と選択したが、使用中の製剤カートリッジが取り付けられました。 ▶ 未使用の製剤カートリッジを挿入するか、製剤カートリッジ取付け時に「どちらの薬ですか?」と表示されたとき「使用中」を選択してください。
 使用中の 薬を装着 しましょう	製剤カートリッジ取付け時、製剤カートリッジを「使用中」と選択したが、使用中の製剤カートリッジ以外が取り付けられました。 ▶ 使用中の製剤カートリッジを挿入するか、製剤カートリッジ取付け時に「どちらの薬ですか?」と表示されたとき「未使用」を選択してください。
 正しい 薬を装着 しましょう	製剤カートリッジが正常に装着されていない、または製剤カートリッジの識別結果が適切ではありませんでした。 ▶ 製剤カートリッジが正しいか、ラベルの剥がれ・汚れ・ゴミの付着がないかを確認し、装着し直してください。
 薬を確認し てからドアを 閉じましょう	カートリッジドアを20分間閉じていない、または電源を入れた時にカートリッジドアが開いています。 ▶ カートリッジドアを閉じてください。
 電池を交換 しましょう	電池残量がなくなりました。 ▶ 同梱されている新品の予備電池に交換してください。

表示	内容と対応
 電池残量不足 本体を体から 離しましょう	注射中に電池残量が少なくなりました。 ▶ 本体を体から離し、注射針を外したあと電源を切ってください。そのあと、同梱されている新品の予備電池に交換してください。 ※ 投与不足の可能性がありますので、主治医等にご連絡ください。
 注射針を外し 電池を交換 しましょう	注射後に電池残量がなくなりました。 ▶ 注射針を外し、保護カバーを閉じたあと、同梱されている新品の予備電池に交換してください。
 保護カバーを 閉じましょう	保護カバーを3分間閉じていない、または電源を入れた時に保護カバーが開いています。 ▶ 保護カバーを閉じてください。
 本体期限が 近づいて きています	オスタバロインジェクターの使用期限が残り3か月以下になりました。 ▶ そのまま使用可能ですが、主治医等にご連絡ください。
 本体期限まで あと12日です	オスタバロインジェクターの使用期限が残り1か月以下になりました。残り日数によりカウントダウン表示します。 ▶ そのまま使用可能ですが、主治医等にご連絡ください。
 本体期限が 過ぎました	オスタバロインジェクター本体の耐用年数が終了しました。 ▶ 投与できませんので、主治医等にご連絡ください。
 最大使用回数 に達しました	オスタバロインジェクターの使用回数が規定に達しました。 ▶ 投与できませんので、主治医等にご連絡ください。

# お知らせ表示一覧 (つづき)

表示	内容と対応
 ドア周辺を確認しましょう	カートリッジドアが開きません。 ▶ カートリッジドアから指を離すか、カートリッジドア周辺の障害物等があれば除去してください。
 本体異常です 使えません	オスタバロインジェクター本体に異常が発生し、使用することができません。 ▶ 主治医等にご連絡ください。
 本体を離して 注射針を確認 しましょう	注射中に異常が発生しました。 ▶ 本体を体から離し、注射針を交換したあと了解ボタンを押してから、再度注射を行ってください。繰り返し表示が出る場合は、主治医等にご連絡ください。
 注射針を確認 しましょう	空打ち中に異常が発生しました。 ▶ 注射針を交換して了解ボタンを押し、再度空打ちを行ってください。繰り返し表示が出る場合は、主治医等にご連絡ください。
 凍結を避けて 冷蔵庫に保管 しましょう	注射終了後、冷蔵庫保管されず、所定の時間以上放置されています。 ▶ 冷蔵庫に保管してください。製剤カートリッジの使用については、主治医等に相談してください。
 保管温度に 気をつけ ましょう	上記の「凍結を避けて冷蔵庫に保管しましょう」画面が表示され、次回電源を入れた時に確認のため表示されます。 ▶ 注射終了後は、冷蔵庫保管することを忘れないでください。製剤カートリッジの使用については、主治医等に相談してください。
 低温のため 使えません	保証温度範囲 (0℃未満) を下回っており、使用することができません。 ▶ オスタバロインジェクターは、保証温度範囲内に戻ってから使用してください。製剤カートリッジは主治医等に相談して、新しい製剤カートリッジに交換してください。

表示	内容と対応	
 高温のため 使えません	保証温度範囲 (40℃超) を超えており、使用することができません。 ➡ オスタバロインジェクターは、保証温度範囲内に戻ってから使用してください。製剤カートリッジは主治医等に相談して、新しい製剤カートリッジに交換してください。	
 直射光を 避けましょう	カートリッジドアの透明窓部に直射光が当たることで、製剤カートリッジが誤認識されました。 ➡ 直射光を避けてから、決定ボタンを押してください。	
薬が終了し ました。交換 しましょう	製剤カートリッジの使用期限が切れた、または14回の投与が終了しました。 ➡ 新しい製剤カートリッジに交換してください。	
薬の交換時期 が近づいて きています	製剤カートリッジの使用期限が残り7日、または注射回数7回目になりました。 ➡ 新しい製剤カートリッジを準備してください。	
前回注射から 12時間以内 です	前回の注射から12時間以内に、「注射」を選択し、決定ボタンを押した時に表示されます。 ➡ 前回の注射から12時間以内は注射しないでください。不都合がある場合は、主治医等にご連絡ください。	
前回の注射が 正常に終了し ませんでした	 薬を交換 しましょう	前回の注射または空打ちで異常が発生しました。 ➡ 新しい製剤カートリッジに交換してください。
薬の交換が 前回中止され ました	 薬を装着 しましょう	前回の製剤カートリッジ交換または取出し(再装着)で、製剤カートリッジの識別が正常に完了せず、交換が中止されました。 ➡ 未使用の製剤カートリッジか、使用中の製剤カートリッジを装着し、どちらか選択し直してください。

操作中に困ったときにご参照ください。ディスプレイのお知らせ表示があるときは、“お知らせ表示一覧” (P.50) をご参照ください。問題が解決されない場合は、医療機関またはオスタバロ®患者さまサポートセンター (P.59) にご連絡ください。

症状	内容と対応
本体の電源を入れたが、電源が入らない。	電池残量不足の可能性があります。同梱されている新品の予備電池に交換してください。
電池を交換しても、本体の電池マークの電池残量表示が少なく表示される。	電源を切り、一度電池を取り外してから再度取り付けてください。 そのあと、電源を入れてもう一度確認してください。それでも同様であれば、主治医等にご連絡ください。
電池を交換してすぐに、「電池残量不足」の表示が出る。	
電源が勝手に切れる。	3分間ボタン操作が行われなかった場合、自動的に電源が切れます。電源を入れ直して操作を行ってください。
空打ちを実行しても薬液が出ない。	製剤カートリッジの中にある空気が多く、1回の空打ちで薬液の空気が抜けきれていない可能性があります。薬液が針先から出るまで、繰り返し空打ちを実施してください。 注射針の針詰まり等の異常である場合もあります。繰り返し空打ちを実施しても薬液が出ない場合は、注射針を交換してください。
薬液が外に飛び出し、家具等に付着してしまった。	直ちに拭き取ってください。
薬液が外に飛び出し、眼の中に入ってしまった。	直ちに水で洗い流してください。それでも眼に痛みや違和感がある場合は、主治医等にご連絡ください。

症状	内容と対応
本体を落としてしまった。	<p>本体及び製剤カートリッジが損傷した可能性があります。製剤カートリッジが損傷した場合は、新しい製剤カートリッジに交換してください。</p> <p>本体が損傷してしまった場合や操作上に問題がある場合は、必ず主治医等にご連絡ください。</p>
本体が正常に動作しない。	<p>“お知らせ表示一覧” (P.50~P.53) をご参照のうえ、確認してください。何度対応しても正常に動作しない場合は主治医等にご連絡ください。</p>
温度通知設定を「切」にしたのに通知が切れない。	<p>温度通知は一度「切」にしても、次回電源を入れた時に「入」に再設定されます。「切」設定で保管したい場合は、都度設定してください。</p>

# EMC 関連情報

オスタパロインジェクターは、在宅医療環境での使用を意図し、JIS T 0601-1-2:2018「医用電気機器—第 1-2 部：基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項—副通則：電磁妨害—要求事項及び試験」への適合が確認されています。

## エミッション

適合規格	適合グループ 及び クラス
放射RFエミッション (CISPR 11)	グループ 1, クラス B

## イミュニティ

適合規格	試験レベル
静電気放電 (IEC 61000-4-2)	±8 kV 接触、±2, 4, 8, 15 kV 気中
放射RF電磁界 (IEC 61000-4-3)	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz, 1 kHz で 80 % AM
RFワイヤレス通信機器からの 近傍電磁界 (IEC 61000-4-3)	57 ページ参照
定格電力周波数磁界 (IEC 61000-4-8)	30 A/m 50 Hz 又は 60 Hz



## RFワイヤレス通信機器からの近傍電磁界


試験周波数 (MHz)	帯域 (MHz)	サービス	変調	最大電力 (W)	距離 (m)	試験レベル (V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	1.8	0.3	27
450	430 ~ 470	GMRS 460 FRS 460	FM ±5 kHz 偏差 1 kHz Sine	2	0.3	28
710	704 ~ 787	LTE 帯域 13, 17	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800 ~ 960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE 帯域 5	パルス変調 18 Hz	2	0.3	28
870						
930						
1,440	1,429 ~ 1,453	LTE 帯域 21	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
1,720	1,700 ~ 1,990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE 帯域 1,3,4,25 UMTS	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
1,845						
1,970						
2,450	2,400 ~ 2,570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE 帯域 7	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
5,240	5,100 ~ 5,800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
5,500						
5,785						

# 仕様

## 仕様

電源		内部電源機器：直流3 V (CR17335EGまたはCR123A)
形状 及び 寸法	オスタバロ インジェクター	W 45 mm × H 144 mm × D 26 mm ※突起部除く
	冷蔵保存ケース	W 57 mm × H 158 mm × D 39 mm
質量	オスタバロ インジェクター	155 g ※電池 (17 g) 含む
	冷蔵保存ケース	約 62 g
本体使用/保管時の 環境条件 (開梱後)		温度：0 °C ~ 40 °C (凍結しないこと) 湿度：20 %RH ~ 80 %RH 気圧：700 hPa ~ 1060 hPa
輸送/保管時の 環境条件 (梱包状態)		温度：-5 °C ~ 45 °C 湿度：10 %RH ~ 80 %RH (結露しないこと)
電池寿命		一般的な使用で約7か月
投与精度		JIS T 3226-1:2015 準用

## ■使用している記号の説明

記号	説明	記号	説明
	B形装着部		取扱説明書確認
	注意		

# オスタバロ®患者さまサポートセンター

製品に異常がある場合や製品に対するお問い合わせは、オスタバロ®患者さまサポートセンターにご連絡ください。

## オスタバロ®患者さまサポートセンター

フリーダイヤル：0120-180-373

受付時間：9:00～17:00（年中無休）

症状やお薬に関するご質問は、主治医等にご相談ください。

製造販売元

# PHC株式会社

〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5

© PHC Corporation 2020-2022

販売

# 帝人ファーマ株式会社

東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

取扱説明書品番：LDCL059100-2  
P0420-2042



LDCL059100-2